

6月29日・木曜日 2023年（令和5年）

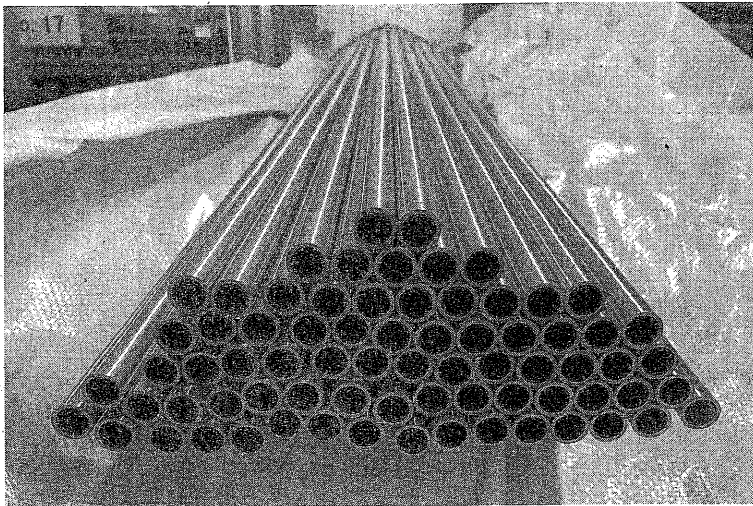
## 三芳合金工業

### 核融合向け銅合金の受注拡大

三芳合金工業（三芳町）は、次世代エネルギーとして注目される核融合発電向けに、特殊銅合金の受注を積み重ねている。南仏で建設が進む核融合実験炉「ITER（イーター）」では、欧州研究機関のフェュージョン・フォー・エナジー（F4E）から重要機器であるダイバーター用に銅クロムジルコニウム合金の板の受注を獲得してきた。

さらに今回、ITERに携わる独エンスニアリング会社からもダイバーター用に銅合金管259本を受注したほか、仏エンス社からマイクロ波を炉に入れるミラー素材として使

用する銅合金板10枚を受注した。三芳合金は顧客ニーズに合わせた高品質の銅合金の開発、製造に強みがあり、ITER向けに供給する銅合金は1000度C超の高温にも耐えられるのが特徴だ。萩野源次郎社長は「F4Eの入札を獲得できたことでITERに参加する企業からも受注が取れている。実績を積み上げたい」と意気込んでいる。



ダイバーター用の銅クロムジルコニウムの管材